

- 問1 アメリカ合衆国のサンベルトに含まれる地域のうち、カリフォルニア州に位置し、近隣の大学や研究機関と連携することで多くのIT企業が集積した、世界的な先端技術産業の拠点は何と呼びますか。(2026年 千葉公立入試 類似)
- シリコンバレー
 - デトロイト
 - ヒューストン
 - ウォール街
- 問2 北アメリカ大陸の西海岸、サンフランシスコ周辺の産業的特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2024年 和歌山公立入試 類似)
- シリコンバレーと呼ばれ、情報通信技術 (ICT) に関わる最先端企業が集積している。
 - サンベルトと呼ばれ、北緯37度以南の温暖な気候を利用して宇宙産業が発展している。
 - 五大湖周辺の鉄鉱石を利用した、鉄鋼業や自動車産業が古くから発展している。
 - 広大な平原を利用して、企業的牧畜や小麦の生産が盛んに行われている。
- 問3 北アメリカ大陸の北部に位置するカナダについて、主要7カ国首脳会議 (G7サミット) の開催都市の一つにもなったことがある、この国の首都として正しいものはどれか。(2024年 大阪公立入試 類似)
- トロント
 - バンクーバー
 - モントリオール
 - オタワ
- 問4 アメリカ合衆国のミシシッピ川流域から五大湖周辺にかけて広がる地域では、広大な農地でトウモロコシの生産が盛んに行われています。この農業地域の名称として適切なものはどれですか。(2026年 島根公立入試 類似)
- トウモロコシ地帯 (コーンベルト)
 - 小麦地帯
 - 綿花地帯
 - 酪農地帯
- 問5 2016年の貿易統計において、日本の最大の輸出相手国 (輸出額の約20.2%) となっている国について述べたものとして正しい名称を選びなさい。なお、この国は輸出総額において中国に次ぐ規模を誇り、自国の最大の輸出相手国としては、陸上で国境を接するカナダ (約18.3%) を挙げています。(2019年 岩手県公立入試 類似)
- アメリカ合衆国
 - ドイツ
 - オーストラリア
 - 大韓民国
- 問6 アメリカ合衆国の工業構造の変化と、サンフランシスコ近郊に位置する「シリコンバレー」の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2022年 島根公立入試 類似)
- 五大湖周辺の石炭や鉄鉱石を利用した、大規模な鉄鋼業の拠点となっている。
 - 豊富な石油資源や宇宙産業を背景に、メキシコ湾沿岸で急速に発展した。
 - 自動車産業の工場が集中し、かつて「世界の自動車の都」と呼ばれた。
 - 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。
- 問7 アメリカ合衆国の中央部を南北に走る西経100度の経線付近は、農業形態の変化を示す重要な境界線となっています。この経線より西側の地域の自然環境と農業に関する記述として、最も適切なものを選びなさい。(2023年 千葉県公立入試 類似)
- 降水量が少なく乾燥しているため、広大な土地を利用した企業的な放牧が行われている
 - 降水量が年間1000mmを超えるため、温暖湿潤な気候を利用した大規模な稲作が行われている
 - 雨が非常に多いため、季節ごとに水草を求めて移動しながら家畜を飼育する遊牧が行われている
 - ミシシッピ川から引いた豊富な水を利用して、家族経営による小規模な果樹園が密集している
- 問8 アメリカ合衆国における日系企業の進出状況について、業種別の拠点数や在留邦人数の統計をまとめた資料から読み取れる、日本の経済活動の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。(2023年 兵庫公立入試 類似)
- 自動車産業などの製造業を中心とした拠点数が多い
 - 農業や林業といった第一次産業の拠点数が最も多い
 - 石炭や鉄鉱石を採掘する鉱業の拠点数が中心となっている
 - 電気・ガス・水道業などの公共インフラ部門に特化している
- 問9 アメリカ合衆国における特定の民族集団に関する説明として、スペイン語を母国語とする中南米からの移民 (ヒスパニック) の特徴や社会的背景を正しく述べているものはどれですか。(2018年 徳島公立入試 類似)
- 地理的に隣接するメキシコなどから労働力を求めて流入しており、アメリカ最大のマイノリティ (少数派) 集団となっている。
 - 建国期にイギリスから移住し、キリスト教のプロテスタントを信仰することでアメリカ社会の中心的役割を担ってきた。
 - 19世紀以降に中国や日本などから西海岸に移住し、農業や鉄道建設の労働力として活躍した人々のことを指す。
 - 北アメリカ大陸に古くから定住していた先住民であり、現在は保留地と呼ばれる特定の地域で独自の文化を守りながら生活している。
- 問10 アメリカ合衆国では、1970年代以降、北緯37度より南の地域で新しい工業が急速に発達しました。この北緯37度線を境界として南側に広がる、温暖な気候に恵まれた工業地域の呼称を選んでください。(2015年 兵庫公立入試 類似)
- サンベルト
 - スノーベルト
 - シリコンバレー
 - 既成工業地帯
- 問11 北アメリカ大陸の気候と自然環境について、西経100度の経線付近を境とした降水量の変化を説明したものとして、正しいものはどれですか。(2021年 宮城県公立入試 類似)
- 東側では年降水量が500mmを超える地域が広く分布するが、西側では一部を除き500mm未満となる。
 - 西側では年降水量が1000mmを超える地域が広く分布するが、東側では一部を除き500mm未満となる。
 - この経線付近は大陸で最も降水量が多く、東西に離れるほど乾燥した気候になる。
 - 北極からの寒気の影響により、この経線より北側の地域のみ降水量が極端に少なくなる。
- 問12 アメリカ合衆国の中西部に広がるトウモロコシ地帯 (コーンベルト) の気候的特徴について、より北西側に位置する小麦の栽培地域と比較した説明として、正しいものはどれですか。(2020年 山形県公立入試 類似)
- 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が高く、年降水量も多い。
 - 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温は高いが、年降水量は少ない。
 - 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が低く、年降水量は多い。
 - 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が低く、年降水量も少ない。
- 問13 北アメリカ大陸の中央平原からグレートプレーンズにかけての地域では、ロシアやカナダと並んで世界の輸出上位を占める小麦の栽培が盛んです。この地域で行われている小麦栽培の背景や特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- 広大な土地を活用し、大型機械を導入した企業的な農業が行われている
 - 家族労働を中心として、限られた土地から高い収益を上げる集約的な農業が行われている
 - 熱帯の気候を生かし、安価な労働力を大量に投入するプランテーション農業が行われている
 - 都市への出荷を目的として、限られた土地に化学肥料を多用する近郊農業が行われている

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|---|--|
| 問1 | 答え 1 シリコンバレー | カリフォルニア州のサンフランシスコ近郊に位置するシリコンバレーは、スタンフォード大学などの研究機関との産学連携が盛んで、半導体やソフトウェア、インターネット関連の企業が数多く誕生した先端技術産業の聖地です。デトロイトはかつての自動車産業の中心地、ヒューストンは宇宙産業や石油産業で知られていますが、IT産業に特化した世界的な拠点としてはシリコンバレーが該当します。 |
| 問2 | 答え 1 シリコンバレーと呼ばれ、情報通信技術（ICT）に関わる最先端企業が集積している。 | サンフランシスコ南部のシリコンバレーは、半導体の主原料であるシリコンにちなんで名付けられました。一方で、サンベルトはアメリカ南部全域の成長産業地帯を指し、五大湖周辺はかつて重工業で栄えた「スノーベルト（ラストベルト）」と呼ばれる地域であるため、地理的な位置や産業の内容が異なります。 |
| 問3 | 答え 4 オタワ | カナダ最大の都市であるトロントや、太平洋側の港湾都市であるバンクーバー、フランス文化の影響が強いモントリオールなどは知名度が高いが、連邦政府が置かれている政治の中心地はオタワである。入試では、経済の中心都市と首都が異なる国の組み合わせとしてよく問われるポイントである。 |
| 問4 | 答え 1 トウモロコシ地帯（コーンベルト） | アメリカ合衆国の中央平原から五大湖の南側にかけての地域は、肥沃な土壌と適度な降水量に恵まれており、世界最大のトウモロコシ産地として知られています。この地域はトウモロコシ地帯（コーンベルト）と呼ばれ、生産されたトウモロコシは家畜の飼料やバイオ燃料の原料、そして世界各地への輸出用として重要です。一方、小麦地帯はより西側の乾燥した地域に分布しています。 |
| 問5 | 答え 1 アメリカ合衆国 | 2016年時点の統計では、日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国です。アメリカ合衆国は地理的に隣接し、北米自由貿易協定（NAFTA）などで経済的結びつきが強いカナダを最大の輸出相手国としています。輸出総額で見ると、世界1位は中国であり、アメリカ合衆国はそれに次ぐ世界有数の輸出大国としての地位を保っています。 |
| 問6 | 答え 4 大学や研究機関と結びつき、情報通信技術やソフトウェアなどの先端技術産業が発展した。 | シリコンバレーは、スタンフォード大学などの高度な教育・研究機関と密接に連携することで、新しい技術やビジネスが次々と生まれる環境が整っています。かつてのアメリカ工業を支えたピッツバーグ（鉄鋼）やデトロイト（自動車）とは異なり、知的財産やソフトウェア、電子デバイスを強みとする「知識集約型」の産業が特徴です。 |
| 問7 | 答え 1 降水量が少なく乾燥しているため、広大な土地を利用した企業的な放牧が行われている | アメリカ合衆国では、西経100度の経線付近を境に降水量が急激に変化します。この線より東側は比較的雨が少なく畑作が盛んですが、西側は降水量が年間500mm程度にまで減少して乾燥するため、乾燥に強い牧草を利用した大規模な放牧が中心となります。また、モンゴルなどで見られる「遊牧」とは異なり、アメリカでは広大な牧場に定住して行う「企業的な放牧」が一般的です。 |
| 問8 | 答え 1 自動車産業などの製造業を中心とした拠点数が多い | アメリカ合衆国は日本にとって重要な経済的パートナーであり、世界でも有数の在留邦人数を誇ります。日系企業の進出状況を業種別に見ると、特に自動車産業をはじめとする製造業の拠点数が多く、現地での生産・販売活動が活発に行われているのが特徴です。これは、かつての貿易摩擦への対応や、巨大な消費市場である現地での需要に迅速に応えるための戦略の結果です。 |
| 問9 | 答え 1 地理的に隣接するメキシコなどから労働力を求めて流入しており、アメリカ最大のマイノリティ（少数派）集団となっている。 | ヒスパニックはスペイン語という共通の言語を持ち、主に経済的理由から中南米よりアメリカへ移住しています。高い出生率や継続的な移民流入により、かつて最大だったアフリカ系を抜いて、現在ではアメリカで最も人口の多いマイノリティ集団となっており、政治や文化への影響力も強まっています。 |
| 問10 | 答え 1 サンベルト | アメリカ合衆国の北緯37度以南の地域は、日照時間が長く温暖な気候であることから「太陽の帯」を意味する呼称で呼ばれるようになりました。1970年代以降、安価な労働力や広大な土地を求めて企業が進出し、伝統的な重工業が中心であった五大湖周辺の北東部（スノーベルト）に代わって、経済成長の重心となりました。 |
| 問1 | 答え 1 東側では年降水量が500mmを超える地域が広く分布するが、西側では一部を除き500mm未満となる。 | 北アメリカ大陸の降水量は、おおむね西経100度を境に大きく変化します。東側は安定した降水量があり農業に適していますが、西側はロッキー山脈などの影響もあり、沿岸の一部を除いて乾燥した気候が広がっています。この「年降水量500mm」という数値は、小麦栽培と放牧の境界線としても重要視されています。 |
| 問1 | 答え 1 2 小麦の栽培地域と比較して、年平均気温が高く、年降水量も多い。 | アメリカ合衆国では、それぞれの地域の気候や土壌に合わせて特定の農作物を栽培する「適地適作」が行われています。トウモロコシは成長に一定の温度と十分な水分を必要とするため、より北西側の内陸部に位置し、冷涼で乾燥している小麦地帯（プレーリーなど）に比べて、南東側に位置し温暖で湿潤な環境にある地域で盛んに栽培されています。 |
| 問1 | 答え 1 3 広大な土地を活用し、大型機械を導入した企業的な農業が行われている | 北アメリカの中央平原における農業は、広大な土地を背景にトラクターやコンバインなどの大型機械を駆使した「企業的穀物農業」が特徴です。これにより、少ない労働力で大量の小麦を生産することが可能となり、国内消費を上回る余剰分を世界中に輸出する「世界の食糧庫」としての役割を果たしています。家族労働を中心とする集約的な農業は主にアジアの稲作地帯などで見られる特徴です。 |